

平成21年7月24日

高松市長 大西秀人様

高松市庵治地区地域審議会
会長 上北東太郎



建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する
意見の取りまとめ調書について（提出）

盛夏の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
日ごろは、本地域審議会につきまして、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し
あげます。

さて、平成21年5月15日付け高地政第73号で依頼のありました建設計画に係
る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見の取りまとめについて、本
地域審議会としての意見集約を図り、別紙のとおり取りまとめをいたしましたので、提出
いたします。

つきましては、取りまとめ事項の予算化および事業化について、格段の御配慮をい
ただきますようお願い申し上げます。

建設計画に係る平成22年度から24年度までの
実施事業に関する意見の取りまとめ調書

平成21年7月

高松市庵治地区地域審議会

建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見について

地区名：庵治地区

番号	項目	意見の内容
1	パイロット地区整備事業（竜王山公園（仮称）の整備）	<p>パイロット地区整備事業と合わせて、庵治地区を石彫の里として、位置づけるために、パイロット地区頂上の平面的な場所と、既存の建物等を含めて、若手彫刻家および石彫を目指す若者に、自由創作活動の場として、使用していただくと共に、親子等を対象にした彫刻教室等の開催を検討いただきたい。</p>
2	自然災害対策の推進について	<p>近い将来発生が予想される地震に備え、避難場所となる公共施設等は、順次、耐震改修が進められておりますが、当地区においては、避難路および緊急輸送路沿いも含め民間建物等は、ほとんど手が付けられていない。</p> <p>高松市では、平成20年3月に「耐震改修促進計画」を策定していますが、更なる促進措置を検討いただきたい。</p>
3	農林水産関係（農地の有効利用について）	<p>平成20年の一筆地調査において、地区内の耕作放棄地は、79,000㎡余となっている。解消策の一環として市民も有効に利用できる対策を検討いただきたい。</p> <p>また、減反対策において、従来、自己保全農地も産地づくり交付金の対象となっていたが、今年度から対象外となっている。狭小農地においては、耕作放棄の防止に大きな効果があることから、国の支援策である「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」の活用も含めて検討いただきたい。</p>
4	農業の振興（イノシシ対策について）	<p>庵治地域では、竹林の伐採や防護柵の設置、休耕田の管理などいろいろな対策を講じていますが、思ったほど効果が出ていないのが現状です。</p> <p>現在では、中山間地域に関わらず住宅のすぐ近くまで頻繁に出没しており、相当数増えているようで、見かけたという方が大勢います。</p> <p>駆除に頼った対策は根本的な解決になりませんが、狩猟免許取得者の高齢化も進んでいるとお聞きしています。後継者育成のためにも資格取得の助成を御検討いただくと共に、市として今後の具体的な対応策をお聞きしたい。</p>
5	連携のまちづくり（公共交通の充実について）	<p>現在、庵治地区の少子高齢化が進む中、よりよい公共交通のあり方を考えていく必要がある。</p> <p>過疎地域やへき地などの高齢者らの交通手段を、行政として今後どのようにしていくのか。</p> <p>また、地区内住民の交通手段だけでなく、地域間交流および観光振興対策としても、最近、地方で注目されているデマンド交通の活用、導入を検討されたい。</p>

建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見について

地区名：庵治地区

番号	項目	意見の内容
6	庵治斎場の駐車場整備について	<p>庵治斎場の駐車場については、狭くて利用台数が限られるため、斎場利用時に、道路への駐車を余儀なくされ、通行に支障を来たすだけでなく、短時間ではあるが、渋滞状態となる現状です。</p> <p>もっと広い駐車場の確保を検討されたい。</p>